

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は、法人の理念と事業所開設時に作成したグループホームの理念がある。事業所開設時に作成したグループホームの理念は、現状に合っているかを職員全員で話し合い、作成し、実践に繋げる。	地域密着型サービスの意義や役割を考えながら、現状に合った理念を職員全員で話し合い、日々の実践につなげていく。	地域密着型サービスの意義や役割を職員で話し合う。それを踏まえ、現状に合った理念を職員全員で考える。毎月のカンファレンスで、理念を日々のサービスに繋げられるよう話し合う。	12カ月
3	2	自治会の河川清掃には、法人内の職員が参加している。町の行事には利用者ととも作品を作成・出品し、参加している。また、ボランティアも時々来られているが、地域住民が気軽に立ち寄れる状況ではない。	普段の生活の中で、地域から孤立することなく、近所づきあいや地域住民と交流できるよう積極的に取り組んでいく。	地域の運動会や氏神様の祭り、公民館行事にもグループホームで参加し、地域住民と触れ合う機会をつくる。	12カ月
2	4	平成25年度は、運営推進会議を年4回開催した。平成26年度も、1年間の予定を立て、年4回開催予定である。運営推進会議で話し合った内容は、サービスに反映し、結果や状況は会議で報告している。	継続して、運営推進会議を年4回以上開催し、事業運営に役立てる。	運営推進会議を年4回以上開催できるよう年間計画(内容を含む)を立てる。話し合いだけでなく、行事への参加や見学も組み込み、楽しんで頂きながら、意見等をいただき、事業運営に生かす。	12カ月
4	35	防災訓練は、年1回、消防訓練は、毎月行っているが、災害時の、地域との協力体制が整っていない。	災害時の、地域との協力体制がとれ、合同訓練を通してお互いに貢献できるようになる。	平成27年3月までに、地域の代表者(協力者)と話し合いの機会を設け、災害時にお互いがどのような協力ができ、合同訓練をどのようにしたら良いか相談し、計画を立てる。	3カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)